

令和8年度第1回 子ども・子育て会議 資料3

新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)対象事業 守山市地域子育て支援拠点施設整備事業 (mamoccoの施設整備に係る事業)

【概要】

地域子育て支援拠点施設を新たに整備し、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての悩みを相談できる場を提供することにより、子育ての不安を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援するとともに、子育て支援を通じた地域交流、子育て世帯の多様な活動を推進する。

【施設概要】

【名称】地域子育て支援拠点施設 (愛称:mamocco)

【所在地】梅田町6番2号 フレンドタウン守山 2階

【面積】511㎡

【開館時間】午前9時～午後5時

【交付対象経費(交付額)】

地域子育て支援拠点施設を整備する経費
113,580千円(56,790千円)



新しい地方経済・生活環境創生交付金 (第2世代交付金)

…地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく独自の取組を計画から実施まで後押しする内閣府の交付金 (現: 地域未来交付金)

	評価指標	単位	KPI(R7)	実績値(R7)
1	毎年度4/1時点の12歳未満(小学生まで)の人口減少率の改善率	%	0.05 【人口減少率】 推計値-1.46 → 目標値-1.41	※1 -0.96 【人口減少率】 推計値-1.46 → 実績値-2.42
2	施設の来館者数	人	12,500	16,871
3	子育てコンシェルジュによる子育て相談等の件数	件	240	※2 7
4	子育てサークル、子育てボランティア団体の登録数	団体	5	7
5	子育てサークル、子育てボランティア団体の貸館利用件数	件	40	3

※1 R7.4.1時点とR8.4.1時点と比較して算出

※2 相談室を利用した相談のみを計上

状況および取組実績

昨年11月のオープン以降、多くの子育て世代に利用され、利用者数は順調に増加している。週末には三世代での利用が見られるとともに、長期休暇中には小学生の利用が増えるなど、「気軽に立ち寄れる子育て広場」としての役割を果たしている。

課題と今後の取組

- ・子育て世帯の孤立化と子育てへの不安感増加の解消が課題である。細やかな声掛けや利用者に寄り添った相談体制によって相談件数を伸ばし、気軽に相談できて親身に寄り添ってもらえる場所を目指す。
- ・貸館利用件数は子育てサークル等の活動促進の指標と捉えられるため、活発なサークル活動の支援に向けて、利用者に対する丁寧な案内を徹底し、利用しやすい環境づくりに努めることで、貸館利用件数の増加を図る。